

2021年6月30日

第38期（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社 阪急デリカアイ

貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	5,711,261	(負 債 の 部)	1,396,894
流 動 資 産	3,415,379	流 動 負 債	1,127,178
現金及び預金	19,779	買掛金	542,006
売掛金	1,065,211	未払金	244,697
商品及び製品	72,617	未払費用	212,152
原材料	96,941	未払事業所税	6,895
貯蔵品	753	未払法人税等	12,296
前払費用	42,961	未払消費税等	16,742
短期貸付金	1,970,623	前受金	262
その他流動資産	147,734	預り金	8,017
貸倒引当金	△1,244	賞与引当金	75,449
		店舗閉鎖損失引当	8,658
固 定 資 産	2,295,882	固 定 負 債	269,716
有形固定資産	2,220,400	繰延税金負債	171,771
建物	630,835	退職給付引当金	79,899
建物附属設備	544,654	役員退職慰労引当金	18,044
構築物	54,253		
機械及び装置	652,447	(純 資 産 の 部)	4,314,367
器具及び備品	103,770	株 主 資 本	4,314,367
土地	234,439	資本金	20,000
無形固定資産	29,255	資本剰余金	1,444,622
ソフトウェア	6,060	資本準備金	2,500
施設利用権	23,195	その他資本剰余金	1,442,122
投資その他の資産	46,227	利益剰余金	2,849,745
長期前払費用	3,683	利益準備金	2,620
差入保証金	42,533	その他利益剰余金	2,847,125
その他投資	10	固定資産圧縮積立金	490,040
		別途積立金	342,612
		繰越利益剰余金	2,014,472
合 計	5,711,261	合 計	5,711,261

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

商品及び製品 総平均法

原材料 最終仕入原価法

貯蔵品 個別法

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法

無形固定資産 定額法

4. 引当金の計上基準

貸倒引当金 売上債権等の貸倒による損失に備えるため、一般債権につきましては、貸倒実績率を使用し、貸倒懸念債権等特定の債権につきましては個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当社退職金支給規程に基づき、自己都合による期末退職金要支給額を計上しております。

役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金に充てるため、規定に基づく期末要支給額を計上しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。ただし、控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。

6. 追加情報

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積もり)

会計上の見積りにおいては、新型コロナウイルス感染症による業績への影響が当面は残るものの、2021年度末に向けて緩やかに回復していく仮定を置いております。

なお、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期等の見積りには不確実性を伴うため、実際の結果はこれらの仮定と異なる場合があります。

当期純損益金額

当期純損失 452,195千円